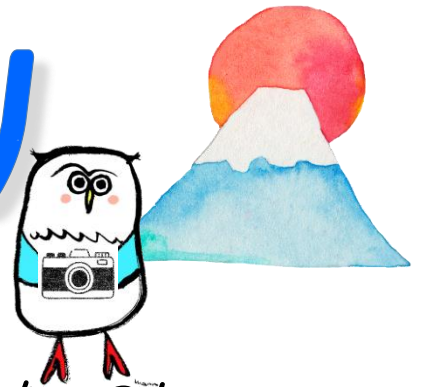


としょかんだより

2025.1 (Vol. 267)

発行：野洲図書館



☆今月の1冊☆

『君はなぜ北極を歩かないのか』

荻田泰永／著 産業編集センター (297.8)



マイナス30度の北極圏600キロを若者12名を連れて踏破した「北極圏を目指す冒険ウォーク」の記録。著者の荻田さんは南極大陸無補給単独歩行を日本人で初めて成し遂げた北極冒険家。まず驚くのが集まった若者たちの多様な顔ぶれだ。全員がアウトドア経験もほとんどない素人で、中には運動部経験すらない芸大の女子学生もいる。これは極地探検の観光ツアー?と思ったら大間違い。冒険家の荻田さんがそんなことをする意味はない。そして自然は厳しい。一步まちがえば命の危険もある。どうやって参加者を決めるか、荻田さんがとったのは募集をしないという選抜方法だった。取材や講演で「次は若者たちを連れて北極に行く」と告知するが募集はしない。差し出されてもいない手を勝手に握りに来る者だけを連れて行こうと決めていたのだという。そして実際の冒険では、一人50キロのソリを引く過酷な日々。白一面でなにも見えないホワイトアウトや、爆風や北極熊に遭遇し、荻田さんの怒号は飛び…。スキーを履くのはじめてだったような若者たちのチームがどう変わっていったのか、冒険とは何か、なぜこんなに苦勞をする企画をしたのか、読み応えのある冒険記だ。(う)

図書館カレンダー (1月)

日	月	火	水	木	金	土
12/29	12/30	12/31	1	2	3	4
← 年末年始休館 →						
5	6	7	8	9	10	11
12	13 成人の日	14 振替休館日	15	16	17 アルプラ 移動図書館	18
19	20	21	22	23 ちい森 in中主	24	25
26	27	28	29	30	31	

★ 行事予定 ★

本館

- ◆ 「おはなしの森」
- ◆ 「ちっちゃなおはなしの森」

※空調工事期間中は暖房が効かないため、おはなし会などの集会行事は中止します。再開の日程につきましては、館内掲示やホームページなどでお知らせします。

中主分館

- ◆ 「ちっちゃなおはなしの森 in 中主」
- 0~3歳向き 親子で楽しめます
日時：1/23 (木) 11:00~11:20

移動図書館 毎月第3金曜

日時：1/17 (金) 10:30~12:00
場所：アル・プラザ野洲

【本館の空調工事について】

詳しくは4面をご覧ください。

★野洲図書館ホームページ→

最新の情報は、図書館ホームページでご確認ください



開館時間 本館 火~日 10:00~18:00
中主 火~日 10:00~17:15
■は本館・中主とも休館日です。

10:30~12:00
アル・プラザ野洲で本
をお借りいただけます

『女性たちの韓国近現代史』 崔誠姫／著

慶応義塾大学出版会 (367.22)



彼女たちは、泣き、笑い、そして戦った。『虎に翼』朝鮮文化考証の担当者が贈る、もうひとつの歴史／物語。有名、無名のさまざまな女性たちに光をあて、近現代韓国の歴史を描き出す。

『人類の祖先に会いに行く』 (469.2)

グド・バルブ・アニー／著 栗原俊秀／訳 河出書房新社



木から落ちて人類史のスターになったルーシー、アフリカを旅立ったドマニシ 2 号…。人類の進化史に大きな足跡を残した 15 人を取り上げ、最新の古生物学・遺伝学によってその人生を追体験できるよう解説する。

あたらしく図書館に入ってきたものから、注目の本をピックアップしてご紹介します。

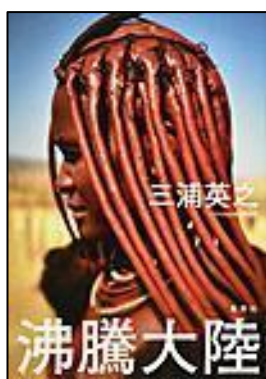
『葛屋重三郎 江戸の反骨メディア王』

増田晶文／著 新潮社 (289.1 ヲ)



江戸後期、吉原の「遊郭ガイド」を販売し、「狂歌」などのヒット作を連発。言論統制を強める寛政の改革に「笑い」で立ち向かい…。北斎ら浮世絵師の才能も見出した、江戸のメディア王・葛屋重三郎の波瀾万丈の生涯を活写する。

『沸騰大陸』 三浦英之／著 集英社 (302.4)



歓喜と絶望。欲望と貧困。美しく、熱く、理不尽なアフリカの声。「生け贄として埋められる子ども」「銃撃を逃れて毒ナタを振るう少年」など、アフリカ特派員として3年間を過ごした著者の驚くべき事実満ちたルポ。

『幻肢痛日記 無くなった右足と不確かさを生きる』 青木彬／著 河出書房新社 (492)



切断したはずなのに、足のあった場所が痛む…。「ない」と「ある」の間には知られざる荒野が広がっている。〈幻肢痛と付き合いながら視界の外に広がる世界を思索する4年間の記録。〉

『母親になって後悔してる、といえたなら』

高橋歩唯・依田真由美／著 新潮社 (367.3)



胸の奥底にあった「母であることの苦悩」があふれます。「母親になった後悔」を口にした日本の女性たちは、どのような人生を歩み、何を経験してきたのか。切実な想いを丁寧に聞き取った、インタビュー集。

『言葉なんていらない？私と世界のあいだ』

古田徹也／著 創元社 (801.01)



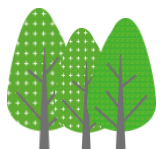
そもそも「発話」によっていったい何をしているのか？言葉のやりとりはなぜ不確かなのか、言葉は人と世界をつなぐ媒介物なのか障壁なのかなど、哲学的な視点から言葉の役割を見つめ直す。



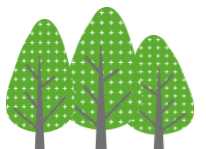
あたらしく入った本(一部抜粋)



請求記号	タイトル	著者名	出版社
143.1	つくられる子どもの性差	森口 佑介／著	光文社
289.3 カ	PATRIOT	アレクセイ・ナリヌイ／著	講談社
289.3 カハ	ロベスピエール	高山 裕二／著	新潮社
291.01	Y字路はなぜ生まれるのか?	重永 瞬／著	晶文社
291.14	地図なき山	角幡 唯介／著	新潮社
302.39	戦争はいつでも同じ	スラヴェンカ・ドラクリッチ／著	人文書院
319.27	ガザ虐殺を考える	森 達也／編著	論創社
326.23	姉と弟	藤原 聡／著	岩波書店
326.56	だから、ワタシは「罪に問われた人たち」と生きる。	木下 大生／編著	現代人文社
361.8	苦情はいつも聴かれない	サラ・アーメッド／著	筑摩書房
366.29	会社はあなたを育ててくれない	古屋 星斗／著	大和書房
367.2	家父長制の起源	アンジェラ・サイニー／著	集英社
367.7	老い方がわからない	門賀 美央子／著	双葉社
373.78	教員不足	佐久間 亜紀／著	岩波書店
383.82	北朝鮮の食卓	キム ヤンヒ／著	原書房
491.7	うんこの世界	アダム・ハート／著	晶文社
726.6	そういうゲーム	ヨシタケ シンスケ／著	KADOKAWA
767.8	ユーミンの歌声はなぜ心を揺さぶるのか	武部 聡志／著	集英社
801.7	訳して、書いて、楽しんで	村井 理子／著	CCCメディアハウス
903.3 カミ	物語要素事典	神山 重彦／著	国書刊行会
911.10 マツ	和歌からはじまる大人の教養	ピーター・J.マクミラン／著	KADOKAWA
913.6 カキ	マンダラチャート	垣谷 美雨／著	中央公論新社
913.6 マチ	ドヴォルザークに染まるころ	町田 そのこ／著	光文社
913.6 ミヨ	ゆびさきに魔法	三浦 しをん／著	文藝春秋
913.6 ミス	その嘘を、なかったことには	水生 大海／著	双葉社
913.6 ミリ	草莽の臣	森山 光太郎／著	早川書房
913.6 ヤツ	憧れ写楽	谷津 矢車／著	文藝春秋
913.6 ヤハ	パンとペンの事件簿	柳 広司／著	幻冬舎
914.6 ワカ	台所で考えた	若竹 千佐子／著	河出書房新社
929.13 フキ	私たちのテラスで、終わりを迎えようとする世界に乾杯	チョン セラン／著	早川書房
933.7 ワラ	天国ではなく、どこかよそで	レベッカ・ブラウン／著	twililight



あたらしく入った本の一覧は、野洲図書館ホームページでもご覧いただけます



重要

野洲図書館（本館）空調工事について

本館は 3/14 まで、空調工事中のため暖房が入りません。暖かい服装でおこしく下さい。ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

		11/30～2/28	3/1～3/14
本館	図書館閲覧室	暖房は入りませんが開館します	
	ホール・会議室等の利用	停止	利用できます
中主分館		通常どおり利用できます	
野洲駅予約本受取ボックス		通常どおり利用できます	

予定

野洲市図書館協議会委員を募集します！

野洲市では、市民のみなさまのご意見やご要望を反映した図書館の運営を図るために、図書館協議会を設置しています。次の任期（2025年5月～2027年4月）の委員の一部を公募します。

○応募資格：野洲市にお住まいの18歳以上のかた

○図書館に設置予定の応募書（図書館HPにも掲載予定）と「これからの野洲図書館に期待すること」（400字程度 様式自由）を提出してください。

詳しくは案内チラシ、図書館ホームページをご覧ください。

よろしくお願いいたします！

応募期間 1月5日（日）～2月19日（水）

図書館アンケートにご協力ください！

図書館サービスの改善のため、ぜひ皆さまのご意見をお寄せください。

回答方法は①②の方法があります。よろしくお願いいたします。

①図書館で配布するアンケート用紙で回答

②図書館ホームページまたはQRコードの読取による回答

*詳しくはアンケート用紙、図書館ホームページをご覧ください。

期間 1月15日（水）～2月9日（日）



<つれづれノート>

野洲図書館からは夕陽がとてもきれいに見えます。さえぎるものなく西側が開けていて、冬でも夏でも季節を問わず、傾いていくお日さまが最後まで見られるからです。なにしろ夕陽が落ちるのは琵琶湖の向こう側の山の向こうですから。山が迫っている場所で育った身には、驚きと感動です。こんな景色が日本中どこでも見られるわけではありません。この幸せに感謝です。(う)

野洲市の図書館のご案内

野洲図書館(本館)

〒520-2315 野洲市辻町 410 番地

TEL 077-586-0218

FAX 077-587-5976

開館時間:火～日:10:00-18:00

野洲図書館中主分館(北部合同庁舎内)

〒520-2423 野洲市西河原 2400 番地

TEL/ FAX 077-589-3382

開館時間:火～日:10:00-17:15